

上越民商ニュース

発行
上越民主商工会
〒943-0827
上越市栄町7-7
TEL025-524-4816
FAX025-524-3298

370人が飲食店街を飲み歩き！いいお店発見し大喜び！ 高田夜の街オリエンテーリング

今回で7回目となる高田夜の街オリエンテーリング(夜オリ)が9月6日午

後7時スタートで実施され、370人が夜の街に一斉に繰り出しました。

夜オリは、参加店42店舗の中から、予め実行委員会が指定した4店舗を2時間で回り、ワンドリンク・ワンフードを楽しむ企画。

参加者は新たなお店を発見でき、参加店は新たな顧客確保の機会となることから、各店舗は最大限のPRを行ないました。



店長のスマイルとトークに意気投合する参加者 (プラダbeego)

今回初出店した「ノストロモード」の川村裕彦さんは、「他のイベントにも興味はあったが、自分一人でやっている店なので、夜オリなら開催時間や来店者数が事前に分かるので参加できると思った。

提供したボルシチは本来メニューにないのですが、喜んでもらえたと思っています。来年も出店したいと思います。」と話してくれました。

参加者の感想文には、「初めての参加ですが閉会式抽選会でワインも当りサイコーでした。また参加したいです。(女性)」

「◎◎(店名)の料理はと



居酒屋の料理とお酒を楽しんで盛りあがる参加者 (喰酔)

改憲・増税阻止など訴え 全商連キャラバンが上越入り

歴史的転換期に、会勢の前進をめざす2017年

秋の大運動のスタートとして全商連は「改憲・増税阻止、安倍政権打倒、

地域経済守れ」の全国宣伝キャラバンを開始。9月7日には長野県から新潟



宣伝カーから市民に訴える。(左から)太田・全商連会長、岩沢・民商副会長、上野・民商会長、中山・全商連常任理事 9/7、高田駅前本町通り交差点

経営のヒントが満載の「全国商工新聞」(毎月曜日発行・月額500円)を前面に、仲間増やしの運動を行なう『秋の大運動』

全ての民商会員が、 商工新聞読者1人を増やそう！

がスタートしました。各支部では支部役員会が開催され、支部主催の「なんでも相談会」の計画や、商工新聞号外の地

域配布の計画などが具体化され始めています。頸北支部では、全会員が、必ず商工新聞読者を1人増やそうと話合っ

ています。来年5月の全商連(新潟)総会に向け、会勢を大きくする運動に全支部が力を合わせ、取り組みましょう。

でもおいしくおしゃべりした。来年も同じお店があたる事を祈っております。(女性)」と喜びの音が寄せられています。

午後9時からは、参加店や協賛各社、実行委員会提供の景品184本が当たる「お楽しみ抽選会」。

当選番号が発表されるたびに大歓声が上がりました。「1万円分の飲食券」をゲットしたのは、初参加の内藤さちこさん(自営業)。「嬉し〜い！信

じられませんか。幸せです。」と興奮が納まりません。

実行委員長岩沢健さんは、「過去6回の夜オリに72店が参加したものの、既に22店舗が転廃業するなど、飲食業界の厳しさを実感しています。夜オリで大いにお店をアピールし、商売繁盛につなげて欲しいと思います。そのためにも必ず来年も実施します。」と次回開催に向けての抱負と決意を話してくれました。



地元食材を提供するお店に夜オリ常連さんも大満足 (越後農場ビスケン)

県に入り、上越市内では本町5丁目交差点で宣伝を行ないました。

上野正信・上越民商会長と、岩沢健・副会長が民商の紹介と、増税反対を訴えました。

太田義郎・全商連会長は、「日本の軍事費は毎年増え続け5兆円を超えたこと。その結果、社会保障や教育、暮らしの予算が削られて国民や中小業

者の営業・生活は極めて厳しい状況になっていること。軍事費が増えることに比例して、国民の税負担(租税・社会保障)が42%にもなっていること。」などを明らかにした上で、「民商は、業者の困った声に寄り添って相談する組織です。遠慮せずどんな問題でも上越民商にご相談下さい。」と訴えました。